

South Wind

サウス ウィンド Sep.2020 Vol.97

特 集

宮崎で働く仲間たち



Contents/ 目次

宮崎で働く仲間たち	2
多文化共生社会をめざして ～みやざき外国人サポートセンター～	4
Hear! Here Voices ～グォン・ヘウク さん(韓国出身)～	5
JICA ぼーべんにゃん	6
宮崎県国際交流協会ニュース	7
INFORMATION	8

ベトナム出身のチャン・ティ・トゥアン さん
(水色の帽子をかぶった方)とそのお仲間です。
技能実習評価試験初級の引率者として鹿児島
に行かれたときの様子です。

チャン・ティ・トゥアン さんのインタビューはp 2に掲載されています。



公益財団法人 宮崎県国際交流協会
<https://www.mif.or.jp/>

宮崎で働く仲間たち

最近、皆さんの周りでいろいろな国の方が働いている姿を見かけませんか。学校でALT（外国語指導助手）と英語を勉強するのもうおなじみです。ほかにも、家の近所のコンビニやレストランで、外国出身の方々に出会うようになりました。そこで、今回の特集は「宮崎で働く仲間たち」と題して、11名の方にインタビューし、宮崎で働くようになったきっかけや仕事を通じて感じたことなどをお聞きしました。ご協力いただいたのは、アメリカ、中国、フィリピン、ドイツ、アイルランド、ネバール、ウズベキスタン、ベトナム出身の方々です。



まずは、ベトナム出身で、技能実習生の通訳やインストラクターとして活躍されているチャン・ティ・トゥアンさんのインタビューです。

Q：どうしてその仕事を始めましたか？

A：私はホーチミン市師範の日本語科を卒業しました。日本に留学して、宮崎情報ビジネス医療専門学校の日本語科に入学して一年半、日本語を勉強しました。6年間勉強した日本語を使える日越通訳という仕事は最適だと思ったからです。



トゥアンさん（左）

Q：仕事をしていて楽しいと感じたり、やりがいを感じたりするのはどんなときですか？

A：実習生の通訳なので、日本人上司・日本人従業員さんとベトナム人実習生を繋げる立場になります。実習生に私が通訳した仕事の内容、上司の指示とか理解して正しくしてもらったら一番うれしいです。そして、今働いている会社は食品製造なので、食品に関する日本語をもっと勉強できて、楽しいです。

Q：仕事をしていて困ったことや、悩んでいることはありますか？

A：もちろんあります。どんな仕事も困ったことはあると思います。たまにわからない日本語もあって通訳・翻訳が困難なこともあります。そして、実習生に正確に伝わっていないところもありました。実習生の通訳で、生活支援もします。団体生活で、実習生の間に発生したトラブルのときとかも困りました。

Q：夢はありますか？それは何ですか？

A：プロの通訳になることです。最近、日本の会議通訳者、長井鞠子さんを紹介した「プロフェッショナル仕事の流儀」という番組を見ました。長井さんに憧れました。通訳の仕事をもっと頑張りたいと思います。

Q：宮崎で働きたいと思っている外国人が増えています。そのような方に、アドバイスや、励ましの言葉をお願いします。

A：暖かい気候で住みやすいです。宮崎で頑張りましょう！

ほかにも、英語教師、大学で中国語を教えるかたわら二胡の指導をしている方、フリーランサー、漬物加工の仕事をしている方、コンビニで働いている方、貿易業に従事している方、インターネットのサポートをしている方など、さまざまな分野で活躍されています。



ALT のブルースさん



子どもたちに英語を教えるキャサリンさん



コンビニで働くスレスさん

Q：どうしてその仕事を始めましたか？

- ◎知り合いに勧められました。 ◎子供のために働き始めました。
- ◎日本語が話せるからです。
- ◎中国の文化、中国の事情、中国の生活様式などを沢山の方と親しむために始めました。
- ◎語学の学習と子供たちに大変興味があります。（子供にとって）母国語の日本語と外国語としての英語の両方で日々の生活について教えることができるので、私にとってぴったりの仕事です。
- ◎母国ではウェブ／グラフィックデザイナーでしたが、宮崎に来てからは、いろいろな仕事をしました。今は、フリーランサーです。
- ◎外国語を活かすことができ、ダイバーシティ企業だからです。日本はIT技術の進歩により、ITの需要は年々高まっていました。日本のIT業界にチャレンジすることで、たくさんの知識が身につくと思い、この仕事に就きました。
- ◎求められて就きました。 ◎ALTとして働いている友人に勧めされました。

Q：仕事をしていて楽しいと感じたり、やりがいを感じたりするのはどんなときですか？

- ◎二胡の演奏を聴いていただいた方が喜んでいる顔を見て、嬉しくやりがいを感じます。
- ◎仕事は大変ですがやりがいがあります。◎仕事が終わって充実感を得たときや給料日です。
- ◎お客様が私の仕事に満足してくれたときです。◎お客様とお話をするときに感じます。
- ◎子供やご両親のために準備したレッスンや行事等を子供たちが心から楽しみ好奇心を示したとき、家庭での子供の態度が前よりも自立しているとご両親から告げられるとき、練習した歌を翌週も歌えるようになったときなどに楽しく、やりがいを感じます。
- ◎お客様から感謝されることが一番のやりがいです。職場でのランチタイムでは、たくさんの従業員の方とお話しできるのがとても楽しいです。皆さんとの会話が、私の日本語のレベルアップにつながっており、感謝しています。
- ◎子供や先生たちが笑っているときに幸せを感じ、卒園式を終えたときにやりがいを感じます。
- ◎子供たちが楽しそうなとき、習った英語の新しい単語や語句を使って自分たちのことを表現するのを見ると達成感を感じます。

Q：仕事をしていて困ったことや、悩んでいることはありますか？

- ◎困ったことや悩んだことはありません。 ◎時々あります。
- ◎思いやりのある雇用主で、仕事と生活を両立させるためのいろいろな問題について安心して相談できます。
- ◎日本全国でほとんどの日本人（大人も子供も）に同じ外国語の間違いがあるようです。何回訂正しても直りません。
- ◎何か問題がおきたとき、私が日本人でないことを忘れ、日本人のように話したりふるまつたりするように求める人もいます。
- ◎自分の日本語があまり上手でなく、同僚も英語があまり上手でないときコミュニケーションを取りにくいことがあります。とはいっても、ほとんどの同僚は大変親切です。

Q：夢はありますか？それは何ですか？

- ◎言語教育以外で自営業を成功させたいです。 ◎仕事では満足しています。子供の成長と幸せを願っています。
- ◎もっとたくさんの人に中国のことに関心を持っていただくことです。
- ◎日本語が今よりうまくなって、ビジネスを始めることです。
- ◎いつの日か、フードトラックで母国の中華料理を紹介したいです。
- ◎宮崎がもっといろいろな人に開かれて、多文化社会の場所となることです。
- ◎今は、どう始めればよいかわかりませんが、英語を教える日本の先生方に、教室で自信と探求心をもって英語を教えられるように手助けし、英語は到達するためのゴールではなく、コミュニケーションのためのツールであるとわかってもらえるような教員養成や現職教育のプログラムを立ち上げたいです。
- ◎宮崎とウズベキスタン、ロシアの交流の懸け橋になりたいと思っています。ロシア語やロシア・ウズベキスタン文化を宮崎のみんなに知ってもらいたいです。
- ◎日本で妻や子供と一緒に楽しく生活したいです。日本語の話し方書き方をもっと勉強したいです。

Q：宮崎で働きたいと思っている外国人が増えています。 そのような方に、アドバイスや、励ましの言葉をお願いします。

- ◎日本語をちゃんと学んだら社会とつながります。 ◎宮崎は機会がたくさんあるので、頑張ってください。
- ◎日本語を学びましょう。日本で働くにはそれが最も大切です。
- ◎宮崎は気候が温暖で交通手段は便利です。さらに生活費が安くて節約できます。
- ◎宮崎は人も土地柄もすばらしいです。やり遂げたいことがあれば、それに向かって真っすぐに進んで行ってください。宮崎は多くのわくわくすることや、助けを必要としている人を助けてくれる心優しい人がたくさんいます。
- ◎宮崎は大都市に比べると穏やかで小さい都市です。給料はそれほど良くないけど、選り好みをしなければ、仕事はたくさんあると思います。食べ物や海、サーフィンを楽しみながら、気の置けない仲間たちに会ったりして、宮崎を楽しんでください。
- ◎宮崎は自然がきれいで、人が優しく、大変魅力的な場所です。日本で長く働きたい人には、とても良い所です。
- ◎できるだけたくさん日本語を学ぶことです。ほとんどの日本人は親切でやさしいです。

縁あって宮崎に住み、仕事をされている方々の様々な声をお届けしました。どの方も、宮崎の良さに触れ、宮崎県民の温かさを実感されているようでした。今、コロナ禍の状況で「新しい生活様式」が求められているなか、皆さんの夢が実現できるように、言葉や文化の違いにかかわらずお互いの理解を深め、多文化共生社会をめざしながらこの困難を乗り越えていきたいものです。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

多文化共生社会をめざして みやざき外国人サポートセンター

Miyazaki Support Center for Foreign Residents



宮崎県内には2019年12月現在7,850人(出典:法務省「在留外国人統計」)の外国人が暮らしていて年々増加しています。外国人の方が宮崎で安心して生活できるよう、令和元年10月26日(土)カリーノ宮崎地下1階に「みやざき外国人サポートセンター」が開設されました。毎日の暮らしの中で知りたいこと、困ったことなどを相談できます。お気軽にご利用ください。

[サポートセンターの取り組み]

- ・センター相談員による相談
- ・外国人のための生活・法律相談会(随時)
(弁護士・行政書士が生活に関する相談に対応します)
- ・生活相談員による外国人のための生活相談(随時)
(英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・ベトナム語で相談ができます)
- ・出張相談会(県内各市町村)

[相談できること]

在留資格、労働、医療、税金、出産、子育て、教育、住宅、災害など

[対応できる言語](翻訳機・電話通訳で対応します)

英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、マレー語、タガログ語、ネバール語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ロシア語、ドイツ語、イタリア語、ミャンマー語、モンゴル語、クメール語、シンハラ語

外国人を支援されている方からのご相談にも対応します。
秘密は守ります。

サポートセンターのようす



入口



翻訳機



相談スペース



フリースペース



キッズスペース

お子様連れの相談
もできます。

サポートセンターは交流の場としても活用されています。

「運転免許技能試験対策ディスカッション」

を開催しました!

長期滞在で免許取得を希望する外国人が増える中、6月20日(土)に「運転免許技能試験対策ディスカッション」を開催し、10名の方に参加いただきました。

日本人ボランティア2名による技能試験合格のためのアドバイスは「やさしい日本語」と英語で行われました。参加者は質問をしたり、意見を交わしたりするなど和やかな雰囲気の中、積極的に取り組んでいました。また技能試験に合格した外国人ボランティアから実際の体験談と最新の情報を紹介いただきました。



~相談員から一言~

「暮らしやすい宮崎」を目指して、相談者のみなさんの疑問や悩みに寄り添った対応を心がけています。

どうぞお気軽にご利用ください。



みやざき外国人サポートセンター

宮崎市橋通東4-8-1 カリーノ宮崎地下1階
TEL:0985-41-5901 FAX:0985-41-5902
E-mail: support@mif.or.jp
URL: <https://www.support.mif.or.jp>

対応時間:火曜日から土曜日 10:00~19:00

(祝日・年末年始を除く)



Facebook



Website

Hear! Here Voices

グォン・ヘウクさん



青年実業家

宮崎県国際交流協会の「国際ふれあいチャット韓国語」ボランティア

【プロフィール】

韓国出身。靴下店を経営されながら、宮崎県国際交流協会の韓国語ボランティアとして活躍していただいている。気さくな人柄で、協会の職員だけでなく、韓国語チャットの参加者の方々からも、大きな信頼を得ています。



韓国語チャットの方々と一緒に

自己紹介をお願いします。

権海旭（グォン・ヘウク）と申します。皆さん僕を「ケンさん」とか、「アサヒくん」と呼んでいます。宮崎地元の靴下事業家として、人生の第二幕を開き、一步ずつ進んでおります。

宮崎市役所の向かいの宮銀ビルの近くに店舗がありますので、是非、お越し頂ければと思います。天気がよければ、週末に山によく行きます。興味がある方は気軽に声を掛けてください。一緒に宮崎の山を満喫しましょう。



Q4 グォンさんは日本語が大変お上手ですが、どのように日本語を勉強されましたか？

最初宮崎に住んだのは、あるシェアハウスでした。住人全員が日本人で、僕一人だけ外国人でした。その環境で囲まれて自然に日本語に慣れるようになりました。

話せるようになるまで、1年ぐらいかかった感じです。言語の勉強って特別な手法はないと思います。ひたすら、話す、聞く、書く、読むしかどうしようもない。最近は日本の小説ばかり読みながら、日本語の勉強を重ねています。

Q5 最後に、今後かなえてみたい夢がありましたら教えてください。

僕が作った地元宮崎の靴下ブランドが宮崎の名物になることです。県外からの旅行者が、寄らなくてはならない宮崎のお土産屋になると幸いです。もしそれでお金持ちになつたら、必ず宮崎の地域社会に貢献します。



Q2 どのようにして、宮崎県国際交流協会の事を知りましたか？

宮崎に就職しようと思って、国際交流協会にも立ち寄ってみたことがあります。国際交流協会が職場紹介をする機関ではなかったので、欲しい情報を得ることはできませんでした。その後で、協会のスタッフの方とある飲み会で会って、宮崎県国際交流協会のことについて詳しく聞く機会になりました。



Q3 「国際ふれあいチャット韓国語」のボランティアをしようと思ったきっかけは何ですか？

当時チャットを担当していたスタッフの方からお電話を頂いて、誘われたと思います。面白いなと思って参加させて頂きましたが、参加後、物凄く感動しました。韓国語の勉強にこんなに熱意を持って取り組んでいる方がたくさんいらっしゃるとは思いもませんでした。その熱意が僕に伝わってきて、僕も皆様の助けになりますように、どうしても貢献したくなりました。

ぼーぺんにゃん

Vol.7



JICAデスク宮崎 国際協力推進員

田代 芽衣

Tashiro Mei

(元青年海外協力隊 働務官としてラオスで活動)

TEL: 0985-32-8457

E-mail: jicadpd-desk-miyazakiken@jica.go.jp

URL: https://www.jica.go.jp/Kyushu/

JICA
デスク宮崎
Daisoku Miyazaki

ひーひーひー

「ぼーぺんにゃん」は、JICA や国際協力について様々なことを紹介していくコーナーです。

（「ボーベンニヤン」は、ラオス語で「大丈夫」「気にならない」「なんとかなるさ」という意味）



「ボーベンニヤン vol.7 ~宮崎から世界へ！活躍する JICA 海外協力隊～」

皆さん、こんにちは！JICA デスク宮崎・国際協力推進員の田代です。

現在 22 名の宮崎県出身の JICA 海外協力隊員が世界で活動しています。

（※新型コロナウイルス感染拡大の影響により日本国内にて一時待機中です。2020 年 8 月現在）

今回は、宮崎県出身の帰国隊員、児玉 徹さんによる活動紹介をしたいと思います。



みなさん、こんにちは！私が JICA 海外協力隊として派遣された国は、中南米の「コロンビア共和国」です。通称コロンビアは、南アメリカ北西部に位置する共和制国家で東にベネズエラ、南東にブラジル、南にペルー、南西にエクアドル、北西にパナマと国境を接しており、北はカリブ海、西は太平洋に面しているところです。私の現地での仕事は、コロンビア消防庁に籍を置き「防災・災害対策」に関する事、具体的には危険物・危険物施設における災害対策及び消防全般における助言や指導を行うものでした。

まず、最初に取り掛かったのが現地の消防の状況を把握することでした。この状況調査に、約半年を費やしました。コロンビアの消防組織は日本と同じように自治体消防です。745 の消防本部と約 15,000 人の消防士がいます。しかし、その構成は日本とは全く異なるものがあります。日本では約 16 万人の消防士がありますが、コロンビアの消防士の約 8 割がボランティアの消防士です。つまり、他に仕事を持しながら消防士をしていることになります。ほとんど地方の消防署の運営はすべてこのボランティアの消防士が行っていることになります。そして、全体の消防士の約 2 割が女性消防士です。日本の消防も近年女性消防士が増加の傾向にありますがコロンビアに比べればまだ少ない印象を受けました。また、救急車の運用をしていない消防署も多くありました。その地域では、医療機関が救急車の運用をしています。このような状況の中で、私が大きな課題と考えたのが消防技術の面で都市部と地方に非常に大きな差があるという事でした。

そんな中、私の最も大きな仕事だったのが、モスケエラという地区での工場関係者や消防関係者を集めて開催された講演会への参加でした。そこで私は日本の消防組織や法規制並びに災害対策の紹介のプレゼンをさせていただきました。多くの人前でのプレゼンで非常に緊張したのを今でも覚えています。

また、さらに機会あるごとにあちこちの消防署に出向き現地の消防士と意見交換や情報交換、時には訓練を計画し実施することが出来ました。そして、多くの消防の仲間を得ることが出来ま

した。そこで、受けた質問で一番多かったのが「日本の消防士の規律ある行動や機敏な行動を習得するためにはどうしたらよいでしょうか？」との質問でした。さすがに私もこの質問には頭をかかえましたが、基本的には消防士に限らず、日本人は礼儀や謙が文化的にも習慣的にも幼いころから当然のように教育されています。また、知らずのうちに日本人はそれを身に着けています。その段階の上に、日本の消防士の規律や行動がなりたっています。それを、文化・習慣の違うここコロンビアで習得させるために何が必要かと問われて、最後まで、うまく説明できなかったことを覚えています。逆に日本人の礼儀正しさや謙を重んじる文化、習慣は世界に誇れるものだと痛感しうれしさを感じる一面でもありました。

この 2 年間の海外生活を総括すると、一番何が必要であったか、何が重要であったかと考えると、仕事以前にまずより良い人間関係を作ること。職場の仲間や沢山の友人を作ること。知り合いを増やすこと。つまり、コミュニケーション能力の重要性、必要性です。言葉も当然ですが、外国では言葉も良くわかりません。言葉は伝達手段の一つにすぎません。自分の意思や感情や考えを体全身を使って伝えるなどの能力を身に着けること、また、どうすれば周りの人を引き付けられるか、自分に興味をもってもらえるかその手段を考えることが一番大切であったように思います。おかげで、私は多くの同僚や仲間に恵まれ、そして助けられ、守られ、どうにか現地での仕事もうまくやり遂げられました。

多くの不安や期待が入り混じる中でのコロンビアでの仕事でしたが、今までの人生の中で一番価値ある有意義なものとなりました。私にとって第二の故郷ができたと感じています。今後はこの経験を活かし、都城で生活している外国の方々を何らかの形でサポートすることが出来ればと考えています。さらには、都城市をコロンビアを始めとし広く海外にアピールしていくことが使命であると感じています。

児玉さんの JICA 海外協力隊活動報告はいかがでしたでしょうか？

この記事を読んで、気になった方や JICA 海外協力隊に興味を持たれた方は、いつでもお気軽にご相談ください。JICA に関すること、国際協力に関すること一緒にお話ししましょう♪

「ある国に宮崎人がおったげな…」 miten

各国で暮らした経験のある宮崎人が旅行では知ることのできないリアルな体験記をつづります。毎月続々更新中！
バックナンバーも是非ご覧ください。

WEB <http://www.miten.jp/miten/modules/popupblog/>



JICA の事業について質問などありましたら、(公財) 宮崎県国際交流協会内 JICA デスク宮崎までご連絡ください。
TEL.0985-32-8457 E-mail : jicadpd-desk-miyazakiken@jica.go.jp

宮崎県国際交流協会ニュース

宮崎県地域日本語教育体制整備事業の一環として、次の講座を開催しています。

日本語講座【初級1・2】

6月2日(火)~9月3日(木) 全25回

初めて日本語を学習する人、少し勉強をしたことがある人向けに日本語講座を実施しています。今回は6つの国と地域から9名の方々が参加されました。生活に必要な日本語力を身に付けようと、皆さん熱心に学んでいらっしゃいました。

後期の講座は9月24日(木)

から始まる予定です。



前期

オンライン日本語講座【初級1】

6月16日(火)~9月18日(金) 全25回

本年度初めての試みで、Zoomを使ってオンライン日本語講座を実施しています。今まで、遠くで日本語講座に通うことができなかつた方など7名に参加いただき、毎回積極的に質問が飛び交う楽しい講座となっています。



その他にも、次のような講座を開催しました。

サタデーふれあいチャット【英語】

(初級、中上級)

8か国からの外国人のボランティアの皆さんと、「英語で伝えよう!」という意気込みで、英語熱あふれる参加者が、有意義な時間を過ごされています。楽しい話題で、多文化交流も進んでいます。9月12日が最終日です。



国際ふれあいチャット【中国語】

シンガポール出身の県国際交流員や、中国・アメリカ・カナダ出身で中国語の堪能なボランティアさんにご協力いただき、6回のチャットを実施しました。中華圏の文化についてだけでなく、日頃の学習の疑問点など積極的に質問しながら、有意義な時間を楽しめました。



前期

日本語れんしゅう会

毎週水曜日・金曜日

日本語のレベルアップを目指す外国人を対象に、日本語ボランティアの皆さんとほぼ1対1で日本語を学習する場です。教科書を使って文法や漢字、会話を学んだり、新聞や本を読んだりしながら、皆さん熱心に学習を進めていらっしゃいます。



通年
開催

日本語学習支援者養成講座

*宮崎市は7月・8月に開催し、9月より日南市、11月より日向市の開催を計画しています。

地域に暮らす外国人の日本語学習をサポートしてくださる方向けの講座で、外国人住民の状況や異文化コミュニケーションのコツ、地域日本語教育の多様性などを学びます。修了後は当協会に登録いただき、地域日本語教室や個別ボランティア紹介で活動していただけます。



国際ふれあいチャット【韓国語】

韓国語を勉強したい、もっと話したい、韓国の文化を学びたい、という意欲あふれる日本人の方々が、韓国人の方々とクイズ形式で韓国のこと学んだり、会話を楽しんだりしました。



これからも、日本語講座、英語・韓国語・中国語のチャット、外国人住民を支援するための講座、アートフェスティバル等、講座やイベントの開催を予定しています。なお、新型コロナウイルス感染に係る社会状況により、中止や延期、変更も考えられます。その際は当協会のホームページやフェイスブック等でお知らせいたしますので、ご確認ください。

ちよっとうひらいき

「自然との共存」



みやざき外国人サポートセンター
相談員 岩切 麻紀子

昨年の9月にオリンピックの出場権をかけた歴史的な大会「2019 ISA ワールドサーフィンゲームス」が宮崎市の木崎浜ビーチで行われました。オープニングセレモニーでは、各国の選手たちが色鮮やかな国旗を掲げ、国を象徴するユニフォームで登場する中、大きな黄色いカンガルーのバルーンを片手にオーストラリアンブッシュ・ハットを被った選手たちが登場した瞬間に、懐かしさを覚えました。中でも女子の選手が原住民アボリジニーの国旗を掲げる姿に、ふと私はオーストラリアにいた頃の旅を思い出しました。

それは NSW 州西部にあり 4 万年以上前に「マンゴ・マン」と呼ばれるオーストラリアで最古の人骨が発見された場所、マンゴ国立公園の旅。食料や飲み水、車のガソリンは自分たちで積み、40 度まで気温が上がる 12 月、赤土の上を走る道中はハラハラ冒険と感動でいっぱいでした。野生のカンガルーやエミュー、美しい鳴き声の鳥、見たこともない爬虫類やめずらしい植物を観察しながら車で約 13 時間、たどり着いた時にはもう夕暮れの時間。入口で野生の

カンガルーが出迎えていたのには心が和みました。ウォールズ・オブ・チャイナと呼ばれる壮大な砂丘の形状の地、夕日に染まる大地、夜空に無数に散りばめられた星、自然への感謝でいっぱいでした。

そんな大自然のオーストラリアで、昨年大規模な森林火災があり、約 10 億匹の野生動物が犠牲となったそうです*。それを聞いた瞬間、自分が旅した場所は大丈夫かと不安になりました。宮崎でのサーフィン大会の話に戻りますが、オープニングセレモニーのスピーチで、ISA 会長フェルナンド・アギーレさんは海洋プラスチック問題について海を守る必要がある事を真剣に話されていました。又試合の前日の夕方にプロサーファーの 1 人が木崎浜でサーフィン後、浜辺に流されていたペットボトルを当然のように拾う姿も見られました。何らかの行動を起こさなければならないと心を奮い立たせました。自然を大切にする事は今後の大きな課題です。

*シドニー大学 Professor Christopher Dickman

INFORMATION

外国人のための日本語講座(初級1)

県内の外国人の方を対象に日本語の初級講座を開催します。

- 【対象】初めて日本語を学ぶ人
日本語のひらがな、カタカナから学習する人
- 【日時】令和2年9月24日(木) 開始 全25回
毎週火曜日・木曜日 10:10~12:00
- 【場所】カリーノ宮崎地下1階
- 【受講料】無料
- 【教科書代】2,160円(税込)
- 【申込方法】所定の申込用紙に記入し、来館、郵送またはFaxにてお申し込みください。

外国人のための日本語れんしゅう会

日本人ボランティアと日本語の学習をします。
通年開講しており、いつでも参加することができます。

- 【対象】宮崎県に住む外国人
- 【日時】毎週水曜日・金曜日 10:30~11:30
- 【場所】カリーノ宮崎地下1階
- 【受講料】無料



日本語ボランティア紹介

宮崎県に住んでいらっしゃる外国人で、日本語講座やれんしゅう会に参加できない方に、日本語ボランティアを紹介します。学習場所や時間、内容は当人同士で決めていただきます。日本語をさらに勉強したい方、お問い合わせください。

第15回アートフェスティバル 作品募集

- 【テーマ】「外国人が見た宮崎」
- 【展示期間】令和2年11月18日(水) ~12月5日(土)
- 【場所】カリーノ宮崎地下1階
みやざき外国人サポートセンター横 フリーースペース
※アートフェスティバル終了後、県内数カ所にて巡回展示を開催予定
- 【応募資格】原則として宮崎県に住んでいる外国人、または外国にルーツのある方
- 【部門】写真・絵画・書道・手工芸(動画は除きます)
- 【出品点数】各部門とも1人2点以内
サイズ50cm×50cm以内
※詳細についてはお問い合わせください。
- 【応募方法】郵送、持参、またはE-mail
- 【応募締切】令和2年10月31日(土)

ボランティアを募集しています

当協会では、日本語、通訳、ホストファミリー、外国人災害サポートの各種ボランティアを募集しています。皆様のお得意分野で国際交流、多文化共生社会の輪を広げていただければと考えています。詳細は、当協会のHPから、または協会に直接お問い合わせください。

当協会の発展のためご尽力いただきました前会長の清本英男様が去る6月10日にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



South Wind

サウス ウィンド
Sep.2020 Vol.97

企画・編集 公益財団法人 宮崎県国際交流協会 第97号 2020年9月発行
〒880-0805 宮崎市橋通東4-8-1 カリーノ宮崎地下1階 TEL.0985-32-8457 FAX.0985-32-8512
● URL <https://www.mif.or.jp/> ● E-mail miyainfo@mif.or.jp

情報・意見などを寄せください。

外国人との交流会など、国際交流に関する催しを計画している団体やサークルの情報をお待ちしています。
また、国際交流に関する話題や体験談、意見なども協会にお寄せください。本誌に対する要望もお待ちしております。

